

# 議 会 だ よ り

## か み ふ ら の



No. 76

2012.10.25発行

### contents

身近な議会を目指して…

- 第3回定例会 各会計補正予算を原案可決ほか……………P 2
- 「財政指数の改善」など6名の議員が町政を問う……………P 5
- 委員会報告全道議会議員研修会、議会広報特別委員会先進地行政調査……………P 12
- 「みんなのページ」今回はパッチワークサークル『夢布遊』ゆめふゆうを取材……………P 13



『北海道人形劇フェスティバルinかみふらの』  
(五幌小学校)

# 第3回定例会

第3回定例会が9月19・20日の2日間開催され、専決処分の承認、各会計補正予算、条例の改正などが議決されました。また、平成23年度各会計歳入歳出決算認定と企業会計決算認定が上程され、決算特別委員会に付託されました。一般質問は6名の議員が町政について16項目にわたり質問しました。



## 平成24年度一般会計

### 補正予算を可決

普通交付税・地方特例交付金及び臨時財政対策債、個人町民税の課税客体、上富良野小学校の用地費、

会計名	補正額	総予算額
一般会計	1億8,357万5千円	64億4,574万7千円
国民健康保険特別会計	▲1,605万円	14億3,373万1千円
公共下水道事業特別会計	330万円	4億1,745万2千円

野小学校の用地費、西小学校体育館改修工事（H23繰越事業）の設計変更等の確定や、固定資産税の課税更正、7月31日と8月1日・9月3日の集中豪雨及び突風に伴う補正など、1億8千357万5千円を増額し、歳入歳出総額を64億4千574万7千円とする補正予算を原案可決しました。

## 「質」疑「か」ら

**問** 赤字国債発行法案が国会を通過していないが、上富良野町に影響はあるのか。

**答** 今現在、影響はない。

**問** 試行運行中の予約型乗り合いタクシーの実情はどうなっているのか。

**答** 平成24年8月現在52名が登録している。稼働率は約75%。平成25年度より本行予定である。

**問** 予約型乗り合いタクシーの祝祭日の運行は考えているのか。

**答** ニーズがないことと、民間企業圧迫の観点から祝祭日の運行は考えていない。

## 緑町団地跡地利用

### 決定により町道を整備

町営住宅緑町団地の取り壊し後の土地利用が決定したことに伴い、土地の分筆経費と町道を整備するための簡易設計費用80万9千円の補正予算を可決しました。

## 「質」疑「か」ら

**問** 緑町の町有地利用で、障害者施設との契約手順は今後どうなるのか？また独占使用のおそれはないか。

**答** 今後関係者と話を進める考えである。また独占使用については遊休地利用を活用するの、いやらないと考えている。

**問** 緑町にできる障害者施設の定員が当面10名、将来30名と聞いているが、枠の制限はあるのか。

**答** 北海道の認可については近いうちに出る予定である。

**問** 障害者施設の建設費用はどこが出すのか。

**答** 障害者施設設置者が借入れや自己資金で建設する。

## お試し暮らし住宅費用を増額

短期居住や二地域居住などの希望者に対して、一定の期間に生活体験ができる住宅を提供し、定住・移住の促進を図るための費用59万1千円を追加補正しました。

この事業は旧教員住宅5戸を10日から3ヶ月の間で、手軽に生活体験ができるようにお試し暮らし住宅として提供し、必要最低限の生活用品を備え付けます。費用の内訳は、短期間の貸付も予想されるため、光熱水費の負担と生活用品の購入消耗品費です。

「質」疑「か」ら

今までで何人が定住したのか。平成23年実績で27件相談があり、実際には14戸22名が定住している。

利用できる期間を10日以上とした理由は、

観光宿泊施設の迷惑にならないことと、上富良野を知っていただくには10日以上が必要と判断した。

お試し暮らし住宅は4棟8戸あるが、残りの3戸は何に使うのか。

移住準備住宅に使用することを考えている。

人事案件

教育委員会委員の任期満了に伴い、2名の教育委員会委員の任命の件について同意可決しました。



服部 久和氏 (新任)  
昭和31年生  
本町5丁目



菅野 博和氏 (再任)  
昭和28年生  
西12線北36号

役場庁舎の外付通路を改修

役場庁舎の正面右にある外付通路を改修するための費用310万円の補正予算を可決しました。この通路は危険なため、現在使用できません。



塀に亀裂が入り危険な外付通路

中央保育所の民間移譲公募

審査会の委員謝金を追加

中央保育所を民間移譲することに伴い設置された「中央保育所民間移譲公募審査会」の委員謝金として、2万円を追加する補正予算を可決しました。

「質」疑「か」ら

中央保育所の民間委託は必要か。町で運営できないのか。

町は子育て・養育支援を中心に行っていく。保育所運営は優秀なノウハウを持っている民間の方に託す考えである。

中央保育所は行政の効率化のためにあるのではなく、町の子どものためにあると考える。

今まで通りでも効率良くできるのでは。

現在のニーズの中心は子育て支援と養育にあり、保育所ではない。

「ホップ」の生産ほ場、摘果・乾燥設備の整備

町の特徴的な農作物である「ホップ」は、昭和40年頃をピークに約40haあった耕作面積が現在は3haまで減少し、3戸の農家で耕作しています。

サッポロビール株式会社「北海道原料研究センター」ではホップの品質改良や研究技術者としての経験を持つ新規就農者が、ホップの生産農家として加わることとなり、これを機会に、ホップの生産農家が構築することで、組織的に生産する体制を構築し、「産地復活」に向けた作付面積の拡大(目標は10ha)を目指します。

そのため、新たな生産ほ場の整備、摘果・乾燥設備の整備をするために北海道地域づくり総合交付金事業からホップ生産調整施設整備補助として1千20万円を追加する補正予算を可決しました。

東北小学校バンドフェスティバル

出場旅費を補助

上富良野小学校のスクールバンドが平成25年1月26日に仙台市で開催される東北小学校バンドフェスティバルに出場します。

そのため、児童30人と引率教師3人分の旅費を補助するため、143万3千円の補正予算を可決しました。



## 平成24年度国民健康保険

### 特別会計補正予算を可決

療養給費交付金の確定などに伴い、1千605万円を減額し、総額14億3千373万1千円とする補正予算を可決しました。

## 平成24年度公共下水道事業

### 特別会計補正予算を可決

浄化センターの改築更新実施設計の委託料や、公設枿設置単価が増額したことによる工事請負費の増額に伴い、330万円を増額し、総額を4億1千745万2千円とする補正予算を可決しました。

## 災害復旧費の補正予算

### 総額1億1千490万円を承認

7月5日、7月31日・8月1日、9月3日・4日、9月9日から11日の局地的大雨、集中豪雨での災害復旧作業に伴う工事請負費などの専決処分を承認可決しました。



災害箇所を視察する議員

## 暴力団排除推進に関する

### 条例を制定

平成23年に北海道で「北海道暴力団の排除の推進に関する条例」が制定され、暴力追放への社会的関心が高まっている。

本町でも道条例の効果を発揮させ、町民の安全で平穏な生活を確保し、地域経済の発展と健全な青少年の育成に寄与することを目的として「上富良野町暴力団排除の推進に関する条例」を可決しました。

## 地域包括支援センター

### 条例を一部改正

介護保険法が平成20年と平成23年度に改正したことに伴い、関係条項が変更移動するため、条例の一部改正を可決しました。

## 災害対策本部条例及び

### 防災会議条例を一部改正

災害対策基本法が一部改正されたことにより、市町村災害対策本部の設置根拠が新たな条文として追加され、地域における防災会議と災害対策本部の役割の見直し及び地域防災計画の策定の多様な主体の参加について条文として明記されたため、条例の一部改正を可決しました。

## 意見書を国などに

### 提出しました

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策の促進や、安定的な林業経営の確立に向け、直接支払い制度による搬出間伐の推進、森林・林業再生にとって不可欠な森林所有者自らが災害に備える唯一のセーフティネットの手段である森林の損害を補償する保険の仕組みを確保することなどを求める意見書です。

保険で良い歯科医療の実現を  
求める意見書

患者の窓口負担割合を軽減し、良質な歯科医療が行えるよう診療報酬制度をさらに改善するとともに、安全で普及している歯科医療技術を保険適用にすることを求める意見書です。



小野 忠 議員

### 財政指数の改善策は 中長期的な計画で 安定化を図っている

**小野議員** 財政力指数は

需要額が減って収入額が増えると好転する仕組みとなっている。しかし、町の場合は3年前、5年前と比較すると年々悪化してきている。この状況の中で将来に不安はないのか伺う。

**向山町長** 地方財政をめ

ぐる情勢は、厳しい状況が続いており、いまだ経済が好転する兆しが見えない中で、限られた財源を有効に活用し、福祉の向上に向けた各種事業を

実施している。

町の財政力指数は、平成23年度決算では0.27と見込んでおり、ここ10年間は、0.25から0.3の中で推移している。この財政力指数は財政の豊かさを表すものであり、本来は1を越すことが理想となっている。

一部の自治体を除いてその財源確保は地方交付税などの依存財源に頼らざるを得ない状況で、町も例外ではなく、今後も同程度の中で推移するも

のと見込んでいる。  
**小野議員** 財政力指数が年々低下しているのに対し、経常収支比率は年々増加している。このまま推移するならば、将来、経常収支比率が80%を超え90%に近くなり、財政運営が破綻することも予測される。この状況に対し、何らかの改善策はあるのか。

**向山町長**

経常収支比率については、財政の弾力性を表すもので、通常は80%を越さないことが望ましい。町のここ数年の状況は、これまで取り組んできた行政改革の効果などから、平成18年度決算での91.3%をピークに年々減少し、平成22年度決算では79%まで減少した。平成23年度決算では84%と見込んでいる。  
経常収支比率は、地方交付税を中心とした歳入の額により大きく変動するものであり、今後も80%台で推移するものと見

込んでいる。引き続き弾力性に乏しい中で財政運営が求められると考えており、近い将来、町の財政が破綻をするという状況は想定していない。  
各地方自治体の財政状況については、様々な財政指標を用いて判断しており、財政力指数及び経常収支比率についても財政運営での判断要素として大変重要な指標であると認識している。これらは毎年の政策課題を推進するための事業などの内容により、若干の変動はあるが、中長期的な財政計画で財政運営の安定化を図っている。

依然として厳しい財政状況が続く中で、小中学校の大規模事業をはじめ、緊急的な災害の対応、医療・介護などそれぞれの事業を精査しながら、町民の方々に不安を与えることのないように、財政運営を行っていきたい。

### 上富良野小学校の改築は 予定通り進んでいくのか

平成26年度に完了する予定で  
進んでいる

**小野議員** 今後、予定通りに進むのか、現時点での教育長の見解を伺う。

着手、26年度完了と予定通り進んでいる。

**北川教育長** 本年度、4

月に実施設計の委託契約

を締結し、基本設計に示した6つの基本コンセプトに基づき実施設計策定作業を進めている。  
全体事業費については、総合計画の実施計画で示した19億9千859万6千円となっているが、平面プラン・事業費等は改めて示したいと考えている。  
改築工事年度は平成25年度



改築に向けて予定通り進められている上富良野小学校



村上 和子 議員

### 町長の任期を目前にして、 4年間の検証と行政を問う

### 農業、商・工業、自衛隊 対策の具体化に向け進めた

**村上議員** 予算の編成は

町長の専管事項であり、議会は予算で示される行政の仕事を決する機関である。予算の査定も従前と同じ方法がとられ、新しい試みとして行政評価を取り入れた編成や、住民参加の予算の手法もなく、無難に終始したと考えるが、町長の見解は。

**向山町長** 町の財政は地

方交付税など依存財源に委ね、国の地方財政の政策の影響を大きく受ける脆弱な構造である。住民参加予算は、事務事業の評価の客観性を高め、その過程への町民参加のあり方の研究を進めていく。

**村上議員** 自衛隊現状維持

子育て・福祉・商工業の産業振興については町の独自性がなく、町長のセールス活動やPR活動による雇用拡大や地域活性化、定住策等は他町村と比べて見劣りを感じるが見解は。

**向山町長** 現有の町内企

業の継続振興を図ること、規模拡大などをお願いすることが一定の雇用を守っていくことに繋がる。さまざまなネットワーク、新たな企業誘致など、トップセールス活動を進める。子育てについても、政治信条として一本釣りで注目を引いたりする手法は若干違う。全ての子育て世代のバランスの取れた政策を講じる。農業・商業振興については、

ていく。

**村上議員** スタッフ制の

組織機構が変わっていないが、仕事のしやすい職場になっているのか。

**向山町長** 現行のスタッ

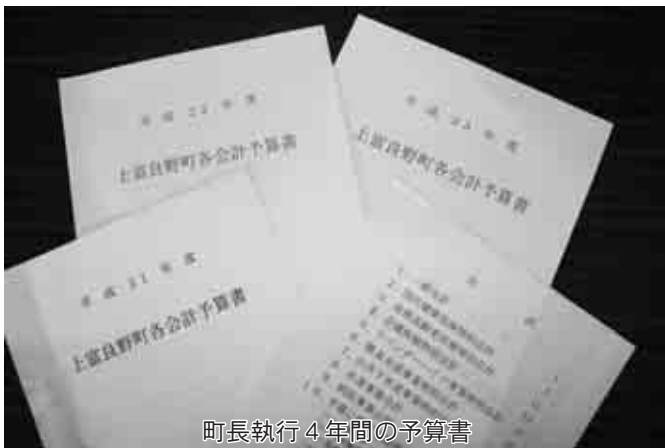
フ制を継続しながら、職員のプロジェクトチームを設置し、機能向上を図っていく。

**村上議員** 職員提案は出

やすい環境になっていないのでは。

**向山町長** 以前は職員提

案をする場合、解決策ま



町長執行4年間の予算書

で提案することとなって

いたが、解決策がなくても提案できる仕組みづくりに見直しをした結果、昨年は4件の提出があり、今年は1件の提出があった。

**村上議員** 人事考課と能

力を引き出し、適材適所の配置、人事異動の基準は。

**向山町長** 人事異動など

は基本的に基準やルールは設けていない。行政課題にどのように対応していくか、これらを担っていく職員をどのように磨いていくかを考慮して人事を行う。

**村上議員** 町長が描いた

この4年間は、町民の暮らしや町の活性化、農業者の足腰は強くなったと思うかどうか。

**向山町長** 時代のニーズ

を的確に把握し、農業・商工業、自衛隊対策、その方向性や具体化へ向け歩みを進めてきたものと認識している。

**村上議員** 認識が少し甘

いのでは。確かに町長の行政執行の4年間は100年に1度の不況や東日本大震災、原発事故、町の度重なる集中豪雨での災害被害、農業者も10年間で100戸減少し、後継者の育成事業も遅れている。どこに1番力を入れて行政執行を行ったのか、残された課題があるとすれば今後の取り組みは。

**向山町長** 不安定要素の

生じている中で就任であった。自然災害の町の備えが脆弱であったというところは理解していった。商工業・農業の移り変わりに好転が見られない、新たな課題もあり、皆さんの思いを一つにして、最大限の努力を続けていく。

### その他の質問

Q 地区担当職員の配置はしないのか。

A 配置は考えていない。





今村 辰義 議員

## 今冬、節電を達成した 家庭に商品券等を 商品券など新たな奨励策を 講ずる予定はない

**今村議員** 道は今夏、政

府が求める以上の9%の節電を達成した。そして、道は道産米、浦河町は2千円の商品券を贈るなどの省エネキャンペーンを実施した。道は、これの冬版を11月から始める予定である。

暖房が欠かせず、照明の使用時間も延びる冬の節電は夏より困難であり、夏以上の対策が求められている。停電になれば暖房設備が使えなくなるな

見通しによると、電力不足は今回に比べ小幅になる見通しであるが、引き続き節電要請をする考えが示された。

また、道は11月から省エネキャンペーンの冬の陣を計画している。本町においては、地域省エネルギービジョンに基づき、省エネ対策として、住宅リフォーム等の助成、生活灯のLED化の補助などの助成策を講じている。

また、町民及び事業者が実施する節電についても、省エネ行動の一つと



高圧線と変電所

ど、町民の命にかかわりかねない。そのためにも計画停電が発動されないよう町も、節電を促進するために、1%程度の節電目標を設け達成家庭に商品券等を贈るキャンペーンを行ってはいかがか。

**向山町長** 先日、

北電が発表した今冬の電力需給

して、同ビジョンに掲げているので、この冬の節電に向けた新たな奨励策を講ずる予定はない。

**今村議員** ビジョンとは将来像や理想像であり、掲げているだけでは実行されない。町民に対しては情報として提供して実行を促すなど、お願いする行動が必要であると思う。具体的にどのようにして実行に移したのか方針について伺いたい。

**向山町長** 先ほども言っ

たように、街灯のLED化、住宅の防寒対策、リフォーム事業が、町が掲げている省エネルギービジョンに直結している。また、新エネルギービジョンも持ち合わせており、公共施設における新エネの導入とかで、町全体として省エネ、新エネに取り組んでおり、これらの計画の一環として、住民の皆さんが節電に取り組んでいただくことが望ましいと考える。

## 融雪後における標識等の 曲がりの速やかな修復を 融雪後速やかに、 かつ漏れのない対応を図る

**今村議員** 町道における

道路などの標識やスノーポールが除雪などで曲がったり、倒れている。これは一面やむを得ないと思う。大事なのは景観のためにもそれらを融雪後、速やかに修復することである。そこで①この現状を町長はどう思うか。②標識などの曲がりの有無の点検などはどこが担当しているのか。③融雪後は速やかに修復すべきと思うかがか。

**向山町長** ①

景観を阻害するばかりでなく、見苦しい実態がある。早急に改善が必要と思いい業を進めてい



曲がったポール



佐川 典子 議員

## ラベンダーの維持管理と

### 感謝し想う日を制定しては

### 補植や除草など美観に

### 配慮し早急に着手する

**佐川議員** 町花に制定さ

れ31年。十勝岳のふもと

にラベンダーあり。この

インパクトは今も変わ

らない。日の出公園や

ラベンダーロード

(道々吹上上富良野

線)は年々草だらけで

歯抜け状態、町として

の保守精神とラベン

ダーへの「町民意識」

の醸成について伺う。

**向山町長** 町の看板

であり、痛切に感じて

いる。かつての姿を取



雑草だらけのラベンダーロード

り戻したい。土地改良や  
除草など管理面において  
も計画期間を短縮し、整

備を図る。

**佐川議員** ラベンダーの

町と言いつながら町民の意

識は営利手段の一つに甘

んじていないか。行政へ

の批判ばかりでなく、

「町花」への思いやりや

守ろうとする心、ラベン

ダーに感謝する心も醸成

して行く事が今後大事で

はないか。

**向山町長** 町がラベン

ダーの再生を進めて行く

事で町民のまちづくりの

意識にも寄与でき、観光

資源として商業ベースで

も期待でき得る。

**佐川議員** 今までなかっ

たラベンダーへの想いや

気持ちを表す日などを町

が制定してくればボラ

ンティアやNPOなど、

町民が参画しやすくなる。

ラベンダーを通して協働

のまちづくりを推進する

ための支援をしては。

**向山町長** ラベンダー管

理についてのボランティア

活動に対して支援をし、

可能な範囲で対応する。

## 鉄塔の乱立から

### 深山峠の景観守れるか

### 景観を重視し

### 景観行政団体として遂行する

**佐川議員** 現在の電柱

(約13m)の2倍の高さ

の送電線鉄塔が深山峠の

近くまで来ている。威圧

感があり、景観を切断し

かねない。深山峠の丘が

織り成す十勝岳連峰への

絶景の流れに対する負の

財産にならないよう、業

者に計画も含めて正して

は。また、町の対応は。

**向山町長** 美瑛町で鉄塔

の更新を実施し、上富良

野町でも計画がある事を



美瑛町に建っている鉄塔

なう事のない様。また、

重点地区の制定と進捗状

況は。今後地域の方々へ

の行動方針など示しては

**向山町長** 他町村より厳

しい規制をかけており、

現時点では推移を見守り、

希望としては景観を守り、

強固なものにしたい。地

域の方々への指定に向け

たアプローチなどもあり

見守りたい。

### 利用者がわかりやすい

### 標示を検討しては

### 利便性を考え見直し

### 改善を図っていく

**佐川議員** ホームページ

でワンクリックで文字を

大きくしたり音声による

ガイダンスや色弱な方へ

の配慮やふりがかななど利

用者にとってのユニバー

サルサービスを考え、津

市や当別町など参考にわ

かりやすい標示にしては。

また、十勝岳線バスの駅

前停留所の看板位置が違

うなど、標示で混乱を招

き不快にさせている。案

内看板の見直しを。

**向山町長** 便利で簡素に

使える工夫を考える。ま

た、JRからの借地に花

壇を設置している事で駅

前広場の除雪や駐車ス

ペースに支障がある。来

春、花壇を移動し、その

際駅前バス停留所の位置

や標示を改善したい。案

内標示は利用者の立場に

立って、今後新設や改修

の折に改善していく。





米沢 義英 議員

## 新規事業開設者の支援を

### 支援策について検討したい

**米沢議員** 店舗の開設など、新規に事業を始めようとしている人を支援する体制作りが必要では。

うとして、新規に事業を始めようとしている人を支援する体制作りが必要では。

**向山町長** 起

業化の支援について町では、産業後継者の育成・確保を図ることを目的に、商工業及び農業の自営業に専業として新規に従



深山峠にオープンしたスイーツ店

業」を制度化しているところだが、起業化支援事業につきましても、独自の施策を持ち合わせていないことから、町及び商工会に相談があった場合は、北海道労働局等の担当窓口を紹介している。今後、事業者のニーズを

## 医療費の無料化を

### 引続き検証したい

**米沢議員** 子育てを支援の取り組みとして、子どもの医療費の無料化を中学生まで拡充する自治体が広がっているが、町の今後の対応は。

**向山町長** 乳幼児等の医療費助成については、町独自の助成として、受診頻度の高い乳幼児を抱える子育て世帯の負担軽減を図るため、就学

前回の幼児に対する医療費の全額補助を実施している。中学生まで拡充した



上富良野中学校陸上部の練習風景

捉えながら、起業化支援の研究と起業の機運が生まれるような仕組みづくりを図られるように、商工会や関係機関と協議を図り支援策の具体化について、充分検討し、取り組みたい。

## 中学生まで拡充を

前回の幼児に対する医療費の全額補助を実施している。中学生まで拡充した

場合には、新たな財源が必要され、制度化を図ることは相当困難と考えるが、今後の町づくりにとって非常に重要な課題と私も認識している。町

## 武装し行軍する自衛隊員

### 町道での武装訓練の中止を

#### 自粛や制限を求めない

**米沢議員** 第26普通化連隊所属の中隊が武装して町道を行軍していたが、訓練は演習場内で実施するように、要望すべきではない。

**向山町長** 自衛隊による訓練等集団による利用においては、警察署で許可を得る必要があるが、公道利用者の通行を妨げず、町道を使用する場合には、道路管理者である町の許可を必要としていない。

行軍訓練等が、道路通行者に支障をきたしている状況にあると思えないことから、自粛や制限を求める考えはない。

の少子化の状況も踏まえながら、バランスの取れた子育て支援事業ができるように、引き続き検証したい。



武装行軍する自衛隊員

### その他の質問

Q 障害者のふれあいサロン実施を町内で。  
A 可能性について協議をした。

Q 町長の4年間の評価は。  
A 自ら評価するものではない。

Q 教材費などの保護者負担軽減を。  
A 学校とも協議をした。



一色 美秀 議員

## 東中中学校閉校後の利用は 地域住民の意向を尊重する

**一色議員** 1年半後に東

中中学校の閉校を控えて、その後の利用策として小規模多機能居宅介護施設と認知症対応型高齢者のグループホームを併用した施設として利用する。事業の実施主体は町で行い、利用者、家族と支援員を調整するコーディネート役を社会福祉協議会に一部委託を行い、訪問活動は研修を受講した町民ボランティア（有償）が担う。町と社協と地域住民が一体となって取り組むことが最善の方

**策と思うがどうか。**

**向山町長** 閉校後、施設

の対応は第3者への貸与譲渡、公用または、公益施設への転用、施設の取り壊しの4点が考えられる。現在地域の意向を聞いているところであり、十分尊重したい。議員提案の町が実施主体となるグループホーム併用施設は想定が難しい。

**一色議員** 介護施設やグ

ループホームの併用は難しいとのことだが、具体的に何が難しいのか。

**向山町長** 町が事業の主

体となって福祉事業活動を展開することは想定していない。

**一色議員** 町が福祉事業

に関わることができないということは、東中だけでなく何度か返答いただいているが、なぜ行政が主体となることができないのか。

**向山町長** 基本的な考え

は、福祉事業のみならず、住民にサービスを提供する事業活動は民間で行うべきで、民間で定着しているものは民に託すのがスタンスである。

**一色議員** 本当に民間で

定着しているのか。特に福祉関係では上富良野は遅れている。町民の多くが感じている。なぜ行政が行うことが間違いなのか。常に町長が言う「住民の意見を尊重したい。」これは聞こえはいいが、実際は行政の手抜きではないだろうか。

**向山町長** 行政推進に臨

む基本的なスタンスは住



閉校が予定されている東中中学校

民の皆さんがどのようなまちづくりを望んでいるのかを念頭に行政運営にあたっている。議員提言がうねりとして町や議会にあるのか、非常に薄いと理解している。町長は

提案する立場なのであれもこれもと提案し、この中から選択してくださいとは無責任だと思う。そういう中で困難だということである。

**一色議員** 全く反対の考

え。町長として福祉の町で行くのか、農業の町として生きるのか、教育はどうするのか、具体的にこうしたいという意見があつて当然である。今、町民が待っているのは町長自身のイニシアティブだろうと思う。そんな意味で東中中学校の問題も閉校を待つてから考えるのではなく、現時点から共に考えていただきたい。

**向山町長** 何度か繰り返

し話しているが、町民と接する中で、あるいは議員と会話を重ねる中で、今、住民がどういうまちづくりを望んでいるかを日々頭の中で整理しながら行政運営に当たっている。

### その他の質問

**Q** 職員を中央省庁に派遣を、「まちづくりは人

づくり」一定期間派遣を行い、人づくりによるソフト面での基盤整備が重要と思うが。

**A** 現時点では派遣の実施は考えていない。

## 全道議会議員研修会 先進地調査報告

平成24年7月3日に札幌コンベンションセンターで開催された北海道町村議長会主催の研修会に13名の議員で参加しました。また、平成24年7月4日には、先進地行政調査として泊村において「原子力エネルギー」に関して視察調査し、研修に参加しました。



### 北海道町村議会議員研修会

「議会改革の展望と課題」と題した講話の中で牛島 久仁彦氏（明治大学政治学部教授）は、地方分権社会の中で、新しい自治体と議会の役割が求められている。議会の何を改革し、住民に身近な議会にするのか、可能性も広がっていると述べていた。

また、今後、地域における議会と議員のリーダーシップの役割が益々求められるだろうと語っていました。

『世界の中の日本・アジアの中の日本』〜日本外交を探る』と題し、手嶋 龍一氏

（外交ジャーナリスト・作家／慶応大学教授）による講話があり、元NHK記者としてアメリカで勤務した豊富な経験をもとに、野田政権における外交姿勢など、鋭い洞察をもつて分析し、ロシアが進めているロシア沿岸から太平洋にぬける北極海航路の開設では、現在のスエズ運河経路に比べて、日本や中国、韓国への距離と時間が大幅に短縮され、北海道の立地条件から石油や天然ガスの輸送など経済的発展に大きくつながる好機になると語っていました。



### 先進地調査 泊村

泊原子力発電所は、敷地面積約135万平方メートル、海岸沿いの山を削って埋め立てて建設され、敷地内には港が整備されていた。

原子力発電所3号機は91万2千キロワットの出力で平成21年12月、日本で50基目となる最も新しい原子力発電所として営業運

転を開始した。しかし、平成23年3月11日発生した福島第一原子力発電所の事故後、本年5月5日に定期検査のため運転が停止されていた。

福島第一原子力発電所の事故を受け、安全性確保のため、防潮堤の設置や非常時における外部電源の確保など地震や津波対策を進めているとの説明を受けた。



### まとめ

福島の原子力発電所は加熱方式に対して泊の発電所は加圧方式であり、全く違う物であった。また、自然災害に対しては、福島県での事故を教訓に様々な事態を想定して、放射線の被害が起こらないような防潮堤の早期完成など安全対策が必要である。北海道は夏の時期よりも冬の期間が消費電力が多いので、一日も早い安定的な電力の確保と再生可能代替エネルギー確保が必要であると感じた。



## 議会広報特別委員会 先進地調査報告

議会広報特別委員会は、8月22日から23日まで、議会の活動をよりわかりやすく町民に知らせる広報にするため、先進市町村の仁木町議会を調査し、北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会に参加した。

### 仁木町議会

仁木町議会の議会だよりは、平成3年6月に創刊し、現在まで94号を発行している。  
①「議会だより」にき「ぶち通信」の発行  
多くの町民に「議会を身近な存在に感じてもらい、議会の傍聴に来てもらいたい」と、議会だよりとは別に定例会開催のお知らせや、一般質問の内容等を掲載し周知していた。

### ②町民ページ「家族の絆」

町内の3世代家族を担当委員が取材し、インタビュー形式で掲載していた。また、取材した家族の子どもを表紙に採用していた。

### ③編集

表紙・目次で、掲載されている内容が分かるように配慮されていた。

記事は、インパクトのある見出しで、議会や行政用語をなるべく使わず、



使用する場合は解説をつけていた。審議内容は簡潔で的確に掲載し、議会独自の調査や研修活動は積極的に掲載していた。  
また、町民に親しまれる議会広報づくり、読まれる議会広報紙を目指していた。

### 議会広報研修会

全国町村議会広報コンクルの審査員をしている城市（じやういちしほしめ） 創氏による「親しみやすい議会広報づくり」と題した講演を聴講した。講演の中では町民に議会の活動を理解してもらうため、各種団体などの集会で、きめ細やかな補足説明と意見交換会等を行っている自治体を先進例に挙げ、議会広報の持つ意義と役割を強調していた。

また、町の広報紙は議会で条例が可決された以降しか載せないが、議会だよりは、議会で条例が可決された経過を掲載する重要な役割があると話していた。

### ①編集の心構え

原稿はそのまま掲載するのではなく、住民に伝えたいこと、住民が知りたいことは何か、住民が読んでどう感じるかなどを意識し、編集することが必要である。

広報委員が原稿を読んで理解できないものは読者にも理解できない。読者に理解されるかどうかを自らに問いかけ、編集作業にあたるのが求められる。

### ②著作権

著作権は作者の権利を守るためにあり、

50年間活きる。原稿用紙に書いたものに著作権は無く、公になってから著作権が発生する。議会だよりには引用文や写真などを掲載するときは注意を払う必要がある。

### ③原稿の訂正

一般質問原稿の内容が理解できないときは、遠慮なく手直しすることが大切で、書いた本人の意向が読者に伝わってこそ意義がある。本人の理解を得ながら訂正するか、議員全体の了解を得ておくことが必要。



### まとめ

議会だよりの果たす役割とは何かを再確認できた。

また、読者が見出しを読んで、内容が読者に伝わるように、文書だけで読者が理解できるかどうかをチェックし、理解できないようであれば図表や地図などを使う。

写真選びは、テーマや狙いにそっているか、表情の動き、目の輝きなど、数多くの貴重な話を聞くことができ、これからの編集作業に活かしていきたいと感じた。

議会だより編集の原点は、あくまでも読者であり、読者が議会だよりを手にしたときにどう感じるかを頭に置き想像しながら編集することの大切さを学んだ。



インタビューは・・・  
岩崎委員です！

代表の蛇岩 美奈子さんに  
お話を伺いました。

自宅の玄関横に設けたパッチワーク作業室兼展示室で女性8名の仲間が集まり、にぎやかに歓談しながら器用な手つきでパッチワーク作りに励んでいました。

このサークルの始まりは、蛇岩代表が町立病院で看護師として勤めているときに旭川のバッチワーク作りの先生により趣味として教わり、色々と工夫を重ね、多くの布切れなどをを使い、手提げや物入れ、壁掛けやのれんなど、見ても作っても楽しくなる作品ばかりです。



◆どのような活動を◆

**岩崎委員** この活動はいつから、どのようにして始まったのですか。

**蛇岩代表** 平成12年から趣味で始めました。それがいつの間にか友達が増え、現在のサークル活動となりました。

**岩崎委員** サークルはいつ活動していますか。メンバーはどのぐらいいるのですか。

**蛇岩代表** 毎週火曜日と木曜日に集まっています。各々の都合に合わせて、それぞれの曜日を合わせると二十数名になります。

**岩崎委員** 材料の調達はどのように行っていますか。

**蛇岩代表** 主に着物（和服）の帯や古い布を再利用して、あまり材料費をかけずに仕立てています。

**岩崎委員** 仲間との意思疎通はどのように



行っていますか。

**蛇岩代表** 年に1度札幌方面へ出かけて、リサイクルショップやパッチワークの専門店などに足を運んで、知識を高めるほか、ひと時の余暇を満喫し、息抜きをしています。

**岩崎委員** 作った作品はどこに展示されるのですか。

**蛇岩代表** 春は富良野市の「ギャラリー喫茶」に、秋は町の文化祭に出展し、皆さんに見ていただいています。



◆議会・行政にひとこと◆

**岩崎委員** 議会だよりは読んでいますか。

**蛇岩代表** 全部読んでいます。特にみんなのページは読ませていただいています。

**岩崎委員** 町民として誇りに思うことはありますか。

**蛇岩代表** 福祉は充実していますし、風景が素晴らしく、周りの人は良い人ばかりで住みやすい町です。

**岩崎委員** 議会への希望はありますか。

**蛇岩代表** 議会活動を通じて町の未来のために頑張ってほしいです。

議会の  
うごき

- 7月31日 三重県津市議会  
(原都クラブ) 視察来町
- 8月10日 厚生文教常任委員会先進地  
調査(和寒町・土別市)
- 22日 議会広報特別委員会  
先進地行政調査(仁木町)
- 23日 議会広報研修会
- 30日 宮城県色麻町議会(教育文教  
常任委員会) 視察来町
- 9月3日 議会運営委員会
- 7日 議会広報特別委員会
- 10日 厚生文教常任委員会
- 11日 総務産建常任委員会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 全員協議会
- 19日 第3回定例会(1日目)
- 20日 第3回定例会(2日目)
- 10月1日 町内行政調査
- 3日 決算特別委員会(1日目)
- 4日 決算特別委員会(2日目)
- 5日 決算特別委員会(3日目)
- 10日 議会広報特別委員会
- 15日 議会広報特別委員会

●三重県津市議会

(県都クラブ) 視察来町  
7月31日に三重県津市の県都クラブが「国内交流事業」について視察調査するため来町しました。  
今年津市と友好都市提携から15年になります。この15年間で津市からは2千100名の方に来ていただき、町からは520名が津市を訪問させていただきました。当日は担当者から説明を受け、質疑や郷土芸能の定着やイベントの開催、津市との交流について意見交換が行われました。

●宮城県色麻町議会

(教育文教常任委員会) 視察来町  
8月30日に宮城県色麻町の教育文教常任委員会が「運動公園芝生の管理運営」について視察調査するため来町しました。  
色麻町は小中一貫校の設置を計画しており、芝生の上を裸足で歩ける教育を目指して新校舎を整備するために、今回、上富良野町を訪れました。当日

は教育委員会から整備の財源や種類等の説明を受け、運動公園を現地視察されました。

●町内行政調査

10月1日に「町内行政調査」を実施し、13名の議員が出席しました。  
緑町団地の除去工事や、子どもセンター・見晴台公園の改修工事、西小学校体育館の耐震改修工事、大雨や集中豪雨で被害を受けた公共施設・河川の7箇所など合わせて16箇所を担当課長などから説明を受け、現地調査を行いました。



事務局  
の  
人  
事



がありました。

10月1日の人事異動により、議会事務局職員の異動

◎議会事務局長 藤田 敏明  
(前議会事務局次長)

◎議会事務局主査 佐藤 雅喜  
(前町民生活課生活環境班主査)

やまびこ

■ぽんこつのワゴン車にぎゅうぎゅうに詰め込まれた人形、黒い布、ベニヤ板、組み立ての棒などなど。あつという間に人形劇のステージができあがった。  
子ども達の真剣な眼差し、笑い声、拍手、輝く瞳、久しぶりに豊かな表情の子ども達を見た。

■過日開催された北海道人形劇フェスティバルinかみふらの。遠くは四国香川県、大阪、京都、東京とプロ・アマ問わずボランティア精神で参加された劇団の皆様  
に心から敬意を表します。  
目的はただ一つ。子ども達に夢を、そして喜ぶ姿を見たい。

あの子ども達が大きくなったとき、この感動を覚えているだろうか。感情豊かな大人になっっているだろうか。  
そんな秘めた思いを胸にお手伝いをさせていただきました。  
最後にちよつとキザなセリフを一言！  
君の瞳に乾杯”

(一色 記)

議会広報特別委員会

委員長	米沢 義英
副委員長	村上 和子
委員	徳武 良弘
岩崎 治男	
一色 美秀	
岡本 康裕	